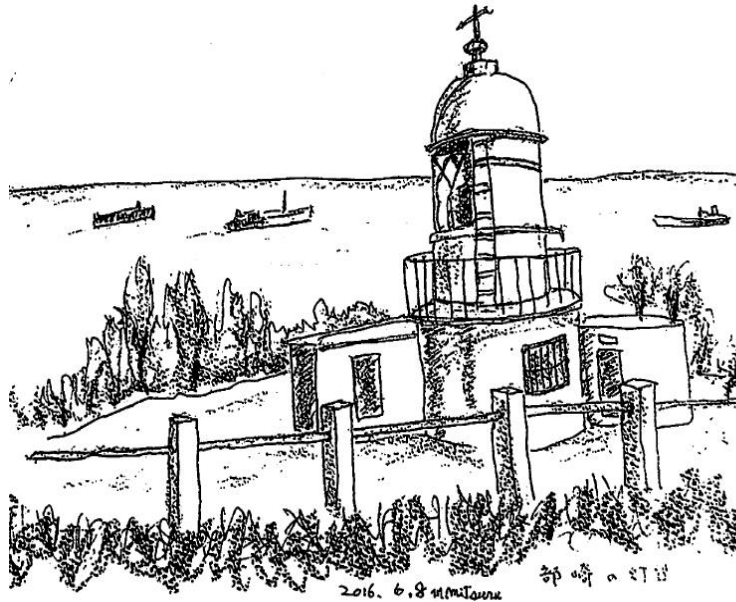


週報2021年7月25日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書43章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年7月25日

ピアノ：赤松眞佐子 姉 オルガン：力丸勝子 師
司会：吉武尚美 姉 メッセージ：山崎銀次郎 牧師

祈祷	開会の祈り
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和
賛美	新聖歌 264「われ贖われて」
祈祷	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*
祈祷	献身の祈り
賛美	新聖歌 286「シャロンの花」
賛美	コーラス 32「あたらしい歌を主に」
聖書朗読	ヨハネによる福音書 12 章 1-8 節
説教題	「イエス様の視線の先に」
祈祷	御言葉の応答の祈り
頌栄	「主の祈り」
祈祷	祝福と派遣の祈り

交わりの三省

- * 互いに愛し合っていますか
- * 互いに赦し合っていますか
- * 互いに祈りあっていますか

説教要約

ヨハネによる福音書 12 章 1-8 節 「イエス様の視線の先に」

①導入「私達の生活は人の犠牲で成り立っている」

これは私の証です。今年から社会人一年目の友人がいます。慣れ親しんだ土地から離れ、たくさんの覚えなければいけない事があると思った時に「何か必要な物ある？送るよ。」と私は言いました。すると友人は「なんでも、ありがたい。」との事なので、北九州ゆかりの食べ物やお菓子を詰めて送りました。とても友人はそれを喜んでくれました。

そんなことがあって間もなく、別の友人から私に連絡がありました。その内容は「結婚おめでとう。これから何かと要り様だと思うので、何か言ってください。それを送ります。」と言われました。夫婦で話しあった結果、炊飯器になり、それをお願いしました。友人は快く「了解！」と言ってくれました。私は友人の好意に感動しながら、最初の話と重ね、「世界はこのようにして回っている事を学びました」

私達の世界はお互いの犠牲で成り立っています。その意識が薄れる時、必ず不平が先行します。足りない現状を嘆き、満ち足りない心に苛立ちを覚え、問題の所在を人に押し付けます。今日の箇所はナルドの香油の話です。この出来事のテーマは「信仰とは自己犠牲の伴う愛」だと言う事です。私達の信仰はイエス・キリストの尊い犠牲によって成り立っています。

②本論「イエス様の視線の先に」

興味深い事に、この出来事の(実際は前後関係も含む)登場人物の見える視線の先はバラバラです。群衆の視線の先はラザロです。イエス様よりも。起こった奇蹟に注目しました。給仕のマルタは“やるべき事”で頭がいっぱいになり、視線の先にイエス様がいまません。後に裏切り者になるユダはお金の事(どうかすめ取るか)で頭が一杯で、イエス様(御言葉)の真意が見えていません。皆の目線が統一していない。これがこの個所の違和感です。イエス様がずっと注目している人がいます。それが高価な香油をイエス様の足に塗ったマリヤです。

この個所はマリヤの信仰、つまり犠牲の伴う愛にずっと焦点が当たっています。言い換えるとイエス様はマリヤの信仰をととても賞賛し、喜んでいます。彼女のしたことは、ずっと大事にしていた高価な香油(給料一年分)を自分の為に使うのではなく、イエス様の為に使った事です。香油をイエス様の足に塗り、自身の髪で香油をぬぐう。これはイエス様に対する最大限の愛と従順を示しています。この個所の最も大切なポイントはこの彼女の行為(※葬りの為に香油を使ったとある)の後、イエス様は十字架の最期の道を歩まれます。つまりイエス様は私達に対する最高の愛を、十字架という究極の自己犠牲を通じて現わされました。イエス様の愛と謙遜と従順は信じる人が永遠の命を得るためです。(ヨハネ 3:16)

ヨハネ 12:25 に「自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。」とあります。命を憎むという表現は強い表現ですが、言い換えると、犠牲の伴う愛を世に示すと言う事です。イエス様を取り巻く人々はマリヤが使った香油の香りの意味を誰一人理解出来ませんでした。私達の信仰はイエス様の愛を土台にした互いの犠牲によって成り立っています。(時間、労力、祈り、奉仕、ささげもの、感謝の言葉等)その香りが教会に満ちて行くのです。

③結び「心を豊かにする言葉」

ユダがマリヤに言った「高価な香油を売り、貧しい人たちに施さないのか？」という発言は一見、正しい様に見えます。しかしユダの本性は常に自分の私欲を満たすことでした。このように心の貧しい人は、常に物事を批判的に見て、自分に脚光を浴びる方法ばかりにこだわります。

ナルドの香油の話は、高価な香油を手放す行為です。しかし、彼女の心は喜びに満ちていました。イエス様に対して誠実に心を注ぎ、感謝と喜びを示すことは、心の豊かな人です。そして心の豊かな人は相手の心が満たされるために、献げる人になります。そしてお互いが与え合う関係へと発展します。

何が心を豊かにするのか？あなたの持つ高価な香油とは何か？これが私達にこの朝問われている事です。キリストの愛だけが、心を満たし、従順へと人を導きます。イエス様が願っている事は他の何かで心を豊にする事ではなく、イエス様の心によって豊かになる事です。イエス様の愛を追い求め、この世に愛と従順を示し続ける者へと変えられて行きましょう。